



Active IQ データを使用して ONTAP クラスタを管理する Cloud Manager

Tom Onacki
April 07, 2021

目次

Active IQ データを使用して ONTAP クラスタを管理する	1
未使用の Cloud Volumes ONTAP ライセンスを表示する	1
未使用の Cloud Volumes ONTAP ライセンスを使用している	2
新しいディスクおよびシェルフファームウェアをダウンロードしています	4
クラウドの候補となるオンプレミスのワークロードを表示します	5

Active IQ データを使用して ONTAP クラスタを管理する

Cloud Manager の Active IQ ページには、オンプレミス環境で検出されていない ONTAP クラスタが表示されます。いずれのクラスタでもディスクファームウェアまたはシェルフファームウェアを更新する必要があるかどうかや、オンプレミスシステムの購入時に付与されたすべての Cloud Volumes ONTAP ライセンスを使用しているかどうかを示されます。この情報は、から Cloud Manager に提供されます ["Active IQ デジタルアドバイザー"](#)。

未使用の Cloud Volumes ONTAP ライセンスを表示する

購入したオンプレミス ONTAP ストレージシステムパッケージの多くには、Cloud Volumes ONTAP の無償ライセンスが含まれているため、Cloud Manager でネットアップのクラウドストレージ製品を試用できます。ライセンスを使用して新しい Cloud Volumes ONTAP インスタンスを作成するか、または既存の Cloud Volumes ONTAP インスタンスにライセンスを適用して、容量を 368 TB 拡張できます。

ネットアップサポートサイトのクレデンシャルに基づいて、未使用の Cloud Volumes ONTAP ライセンスがあるかどうかを確認することができます。

手順

1. Cloud Manager で、* Active IQ * タブをクリックします。
2. ページの下部にある **[Licenses]** タブをクリックします。

Cluster Inventory (42)		Licenses (30)		Firmware Updates (7)		Cloud Ready Workloads (1375)	
Serial Number	License Type	Hyperscaler	Model Type	Expires	AutoSupport		
90320130000000001514	BYOL	AWS	Single	December 31, 2022	No	Use License	▼
90820130000000001141	BYOL	AWS	Single	N/A	Yes		
90820130000000001142	BYOL	AWS	Single	December 31, 2022	Yes	Use License	▼
90820130000000001143	BYOL	AWS	HA	December 31, 2022	Yes	Use License	▼

使用されていないライセンスごとに * ライセンスを使用 * ボタンが表示されます。

3. ライセンスをアクティブ化して使用を開始する場合は、* ライセンスを使用 * をクリックします。



使用可能なライセンスを使用するためのオプションについては、次のタスクを参照してください。

未使用の Cloud Volumes ONTAP ライセンスを使用している

未使用のライセンスを使用して新しい Cloud Volumes ONTAP インスタンスを作成したり、既存の Cloud Volumes ONTAP インスタンスにライセンスの容量を拡張したりできます。ライセンスの容量は 368 TB です。

`_expires_column` は、ライセンスが最後にアクティブになった日を示します。新しい Cloud Volumes ONTAP システムを作成すると、ライセンスの有効期限が切れます。既存の Cloud Volumes ONTAP システムを更新する場合は、既存のライセンスが拡張される期間を指定します。

`License Type'Hyperscaler'_Model Type_columns` は、その Cloud Volumes ONTAP ライセンスのタイプを表しますたとえば、`* BYOL | Single | Azure *` は、「Microsoft Azure」に導入された「シングルノード」 Cloud Volumes ONTAP システムのライセンスを「お客様所有」のライセンスとして使用できることを意味します。この列に表示される値を表に示します。

列 (Column)	値
ライセンスタイプ	従量課金制
ハイパースケーラ	Azure AWS GCP すべてのプロバイダ
モデルタイプ (Model Type)	単一 HA

`_new_Cloud Volumes ONTAP` システムを作成する場合は、導入するシステムのタイプを指定します。たとえば、サンプルライセンス (`* BYOL | Single | Azure *`) を使用すると、Azure で最大 368 TB の使用権を持つシングルノード Cloud Volumes ONTAP システムを作成できます。このライセンスは、HA システムの作成や AWS へのインスタンスの導入には使用できません。

既存の Cloud Volumes ONTAP システムを更新する場合は、既存のライセンスの拡張に対応できるシステムのタイプを示します。サンプルライセンスを再度使用して、Azure 内の任意のシングルノード Cloud Volumes ONTAP システムのライセンスを拡張できます。このライセンスは、HA システムまたは AWS に導入されているインスタンスのライセンスの拡張には使用できません。

未使用の新しい Cloud Volumes ONTAP システムを作成します 使用許諾

未使用のライセンスで新しい Cloud Volumes ONTAP インスタンスを作成する手順は、次のとおりです。

手順

1. [ライセンスの使用] をクリックし、[新しい Cloud Volumes ONTAP * にライセンスを使用] を選択します。
2. [ライセンスの使用 ...] ページで、ライセンス情報を確認し、[ライセンスの使用] をクリックします。

ほとんどの場合、クラウドプロバイダとノード数の両方がライセンスで定義されているため、Cloud Volumes ONTAP システムの作業環境を作成するための `* 詳細とクレデンシャル *` ページが表示されません。

「すべてのプロバイダ」として定義されているライセンスを使用している場合は、「場所を選択」 `* *` ページが表示されます。そのため、最初にクラウドプロバイダを選択してから、「 `* 詳細とクレデンシャル *` 」ページに進むことができます。

3. 手順に従って、作業環境と最初のボリュームを作成します。

Cloud Volumes ONTAP システムを導入するクラウドプロバイダに応じて、次のセクションを参照してく

ださい。

- ["Azure で Cloud Volumes ONTAP を起動します"](#)
- ["AWS での Cloud Volumes ONTAP の起動"](#)
- ["GCP での Cloud Volumes ONTAP の起動"](#)

既存の **Cloud Volumes ONTAP** のライセンス容量を拡張する システム

現在導入されている Cloud Volumes ONTAP システムが、いずれかの空きライセンス（同じクラウドプロバイダ、ノード数など）のライセンス要件に一致する場合は、次の手順に従ってライセンスの容量を 368 TB 拡張できます。

手順

1. [ライセンスの使用] をクリックし、[既存の Cloud Volumes ONTAP にライセンスを追加] を選択します。

Add License to Existing Cloud Volumes ONTAP

License Information

90419737477578510576	BYOL	AWS	Single
Serial Number	License Type	Provider	Cloud Volumes ONTAP

Select Cloud Volumes ONTAP

Cloud_Volumes_ONTAP_001 | AWS | Single ▼

Note: Only Cloud Volumes ONTAP systems that match the license parameters are displayed.

Add License **Close**

2. [ライセンスの追加 ...] ページで、ライセンスを拡張する Cloud Volumes ONTAP システムを選択し、[ライセンスの追加] をクリックします。

確認ダイアログが表示されます。



3. **[Close]** をクリックすると、ウィンドウを閉じて Active IQ ページに戻ることができます。または、リンクをクリックして Cloud Volumes ONTAP Licensing ページに移動し、そのシステムのライセンスの詳細を表示することもできます。

新しいディスクおよびシェルフファームウェアをダウンロードしています

検出された ONTAP クラスタのいずれかで、シェルフまたはディスクのファームウェアを更新する必要があるかどうかを確認できます。また、Ansible プレイブックをダウンロードしてファームウェアをアップグレードできます。

- 注： * 新しいファームウェアを表示およびダウンロードできるのは、特定のサポートプランに登録している場合のみです。

手順

1. Active IQ （ファームウェアアップデート）ページで、 * ファームウェアアップデート * タブをクリックします。

Cluster Inventory (42)		Licenses (30)	Firmware Updates (7)	Cloud Ready Workloads (1375)	Download All
Cluster Name	Cluster Status	Disk Firmware	Shelf Firmware		
durbkpcclu99	Undiscovered	Update Available	No Updates Available		
durdevnasclu01	Undiscovered	Update Available	No Updates Available		
durlabdevclu01	Discovered	No Updates Available	No Updates Available		
blrprdcclu02	Undiscovered	No Updates Available	No Updates Available		

新しいファームウェアを必要とするクラスタがある場合は、「すべてをダウンロード」ボタンが表示されます。

2. **[すべてダウンロード]** をクリックし、zip ファイルを保存します。

3. zip ファイルを解凍し、次の手順を参照してください ["ストレージシステムのファームウェアを更新します"](#)。

ファームウェアが更新されました。ONTAP システムから次回 Active IQ に AutoSupport メッセージが送信されると、*Firmware Updates* ページのステータスが更新され、更新が不要であることが示されます。

クラウドの候補となるオンプレミスのワークロードを表示します

特定のワークロードやボリュームを、オンプレミスの ONTAP クラスタから Cloud Volumes ONTAP システムに移行するのに最適です。このようなメリットには、コストの削減、パフォーマンスと耐障害性の向上などがあります。_クラウド対応ワークロード_ タブには、検出された ONTAP クラスタからのこれらのワークロードのリストが表示されます。

Cluster Inventory (42)		Licenses (30)		Firmware Updates (7)		Cloud Ready Workloads (1375)
Cluster Name	Cluster Status	SVM Name	Volume Name	Workload Type		
hioprclclu02	Undiscovered	vsvhiopax01prd	volpaxprd_hanabackup01	SAP HANA		
hioprclclu02	Undiscovered	svmhicdb02prd	volcldbprd_sqluserdata01	MSSQL		
durdevclu02	Discovered	vsvdurpax01spd	volpaxdev_hana_data	SAP HANA		
durdevclu02	Discovered	vsvdurpax01spd	volpaxstg_hana_backup	SAP HANA		
durdevclu02	Discovered	vsvdurerp01spd	xdperpspd_oradata02	ORACLE		

このページでは、SAP、SAP HANA、Oracle、ファイル共有、SharePoint などのサポート対象ワークロードを参照できます。

移行と切り替え は、アプリケーションをクラウドに移行するためのアプローチです。つまり、アプリケーションとそれに関連するデータを、アプリケーションの設計を変更することなくクラウドプラットフォームに移動することを意味します。詳細については、["持ち上げてシフトします"](#)を参照してください。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.